

# 中学校授業における開発DVD教材「郷土の伝統・文化」の 効果性の研究 (2)

池野 範男 小原 友行 棚橋 健治 草原 和博  
川本 尚樹 有田 光宏 阿部 哲久 若杉 厚至  
宮本 英征 井上 奈穂  
(研究協力者：宇都宮明子 李 貞姫 川口 広美)

## 1. 本年度の研究の目的と方法

本研究は、広島市教育委員会、広島市立中学校、広島大学附属東雲中学校、広島大学附属中学校と広島大学教育学研究科が連携して、平成19年度文部科学省伝統文化教材開発事業において開発したDVD教材の学習効果を実証・検証するため、社会科あるいは選択社会において、開発DVD教材を使った授業を行い、子どもたちの学習反応をまとめ、その結果にもとづいて、教材の効果を判定しようとするものである。

昨年度は、開発されたDVD教材の学習効果を実証・検証するため、広島大学附属東雲中学校、附属中学校、広島市立井口中学校において、DVD教材を使った研究授業を行い、このうち、附属東雲中学校における社会科研究授業を取り上げ、子どもたちの学習反応をまとめ、その結果にもとづいて教材の教育効果、学習効果を判定した。今年度は、附属東雲中学校、附属中学校、広島市立井口学校における3つの研究授業から、DVD教材「郷土の伝統・文化 広島編概要版」の学習効果を判断する。

各研究授業は昨年度の報告と同じく、次のような手順をとった。

- ・DVD教材を使用した授業の学習指導案と評価計画を立案する。
- ・授業までに、プリテストを実施し、子どもたちの事前の伝統文化に関する知識・理解、興味・関心、意欲・態度を調査する。
- ・研究授業を実施する。
- ・授業後に、ポストテストを実施、子どもたちの事後の伝統文化に関する知識・理解、興味・関心、意欲・

態度を調査する。

- ・授業の前後において、知識・理解、興味・関心、意欲・態度などの変容をプリテストとポストテストの比較により数量的に分析する。
- ・プリテストとポストテストの個人別比較により、伝統文化に対する認識の変容を質的に分析する。
- ・授業に関する学習評価と教育評価から、教育・学習効果に関する数量的質的考察を行う。
- ・教育・学習効果の結果をまとめ、DVD教材の有効性を検証する。

## 2. 研究授業の概要と本年度の研究のねらい

### (1) 研究授業の概要

平成19年度のDVD教材を活用した研究授業は次のように行った。

- ①広島大学附属東雲中学校 若杉厚至教諭による社会科（歴史的分野）（平成20年4月17日（木）1年）  
歴史的分野の導入場面での活用
- ②広島市立井口中学校 井上奈穂教諭による社会科（歴史的分野）（平成20年10月17日（金）1年）  
歴史的分野の導入場面での活用
- ③広島大学附属中学校 宮本英征教諭による選択社会（平成20年12月5日（金）、10日（水）1年）  
選択社会における導入場面での活用

昨年度は、このうち、①の広島大学附属東雲中学校の研究を報告した。昨年度と同様な手続きで、各研究授業を分析検討した。紙面の都合上、本稿では、附属東雲中学校と附属中学校の2つの研究授業を、特に学習効果の分析に絞り、報告する。

---

Norio Ikeno, Tomoyuki Kobara, Kenji Tanahashi, Kazuhiro Kusahara, Naoki Kawamoto, Mitsuhiro Arita, Tetsuhisa Abe, Atsushi Wakasugi, Hidemasa Miyamoto, Naho Inoue, Akiko Utsunomiya, Jung-hi Lee, Hiromi Kawaguchi.

A Study on the Effectiveness of DVD Teaching Material "Tradition and Culture in our Home, Hiroshima" in Teaching and Learning Social Studies on the Junior Highschool [2].

## (2) 本研究と本稿のねらい

本研究では、社会科歴史授業においてDVD教材全編をそのまま使い、歴史学習の導入として利用活用する場合を研究することにした。これは、中学校社会科歴史的分野の新学習指導要領(平成20年3月告示)「(1)歴史のとらえ方」における、地域に「受け継がれてきた伝統や文化」への導入教材として本DVD教材を利用活用し、地域の歴史を詳しく調べるようにすすめる場合を想定し、そのような授業を構想した。

本DVD教材に関しては、利用活用の次のような学習効果の仮説を立て、開発を進めた。

- ① 郷土の伝統文化の教材を提供すれば、生徒に、伝統文化の知識や理解を形成することができる。
- ② 郷土の伝統文化の教材を提供すれば、生徒に、伝統文化の意義を考える機会を与え、その意義を考察することができる。
- ③ 郷土の伝統文化の教材に伝承している姿を入れ、それを提供すると、生徒に、伝統文化への興味関心を育てることができる。
- ④ 郷土の伝統文化の教材において伝承とともにその意義に触れると、生徒は伝統文化に深く関わろうとする態度を育てることができる。

この仮説を実証する研究授業を立案、実施、評価することにしたのである。

3つの研究授業すべてを同様に、報告する余裕がないために、類似の授業がなされ、比較しやすい広島大学附属東雲中学校と附属中学校を主に取り上げ、学習効果を中心に比較・分析を行う。広島市立井口中学校の研究授業については、その結果のみを報告することにした。以下では、学習効果の仮説に従って、研究授業前の事前認識、授業後の認識とその評価を量的質的に比較検討し、本年度の研究成果とする。

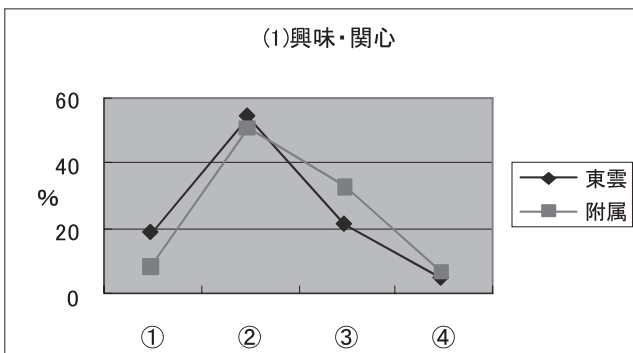
## 3. 学習効果に関する実証分析の比較

### (1) 数量的分析の比較

#### ア 伝統文化に関する事前認識

事前の伝統文化認識を項目ごとに、比較していく。

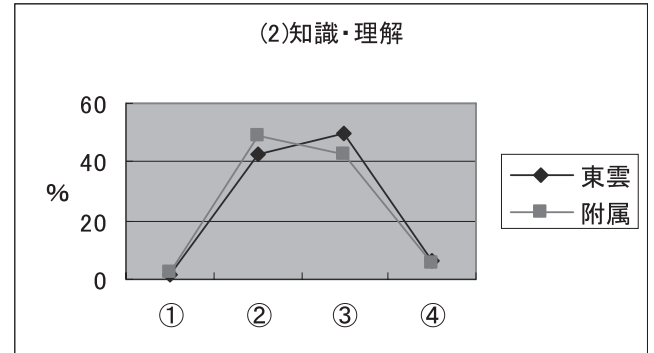
項目(1) 興味・関心について比較した表が以下である。



東雲は2クラス79名、附属は3クラス112名と母体数が異なるので、比較は割合(%)を活用して行う。

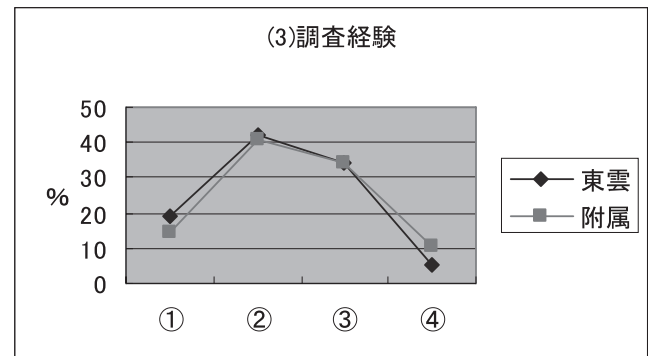
両校とも同様の傾向を示しているが、東雲の生徒の方がより強い興味・関心を示していることが分かる。

項目(2) 知識・理解について比較した表が以下である。



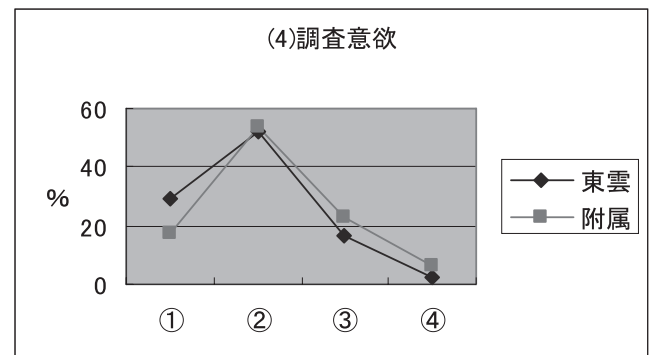
両校とも同様の傾向を示しているが、附属の生徒の方が伝統文化について認識していると思っている生徒が多いことが分かる。

項目(3) 調査経験について比較した表が以下である。



両校とも同様の傾向を示しているが、東雲の生徒の方が伝統文化を調査した経験が若干多いことが分かる。

項目(4) 調査意欲について比較した表が以下である。



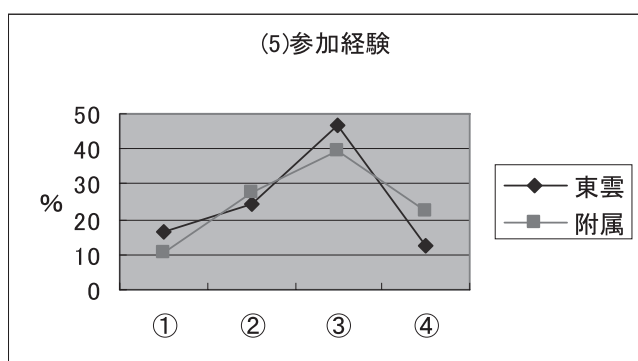
両校とも同様の傾向を示しているが、東雲の生徒の方が伝統文化の調査に意欲をより持っていることが分かる。

項目(5) 参加経験について比較した表が以下である。

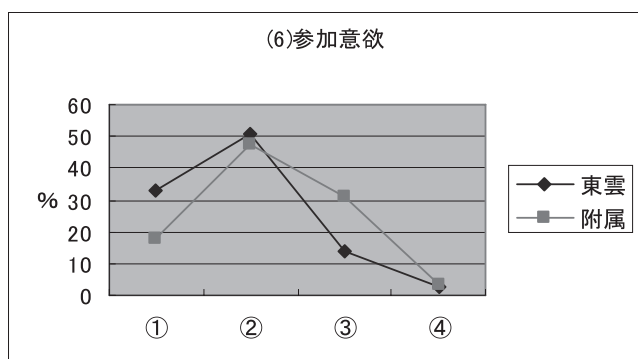
両校とも同様の傾向を示しており、ほぼ両校の生徒の参加経験は同程度であることが分かる。

表 1 伝統文化の種類と事例の比較

	種類	事 例	計
東雲	祭礼	祭り, おみこし, こいのぼり, とんど祭り, ひな祭り, 博多どんたく, とうろう流し, よさこい祭り, 酒祭り, いのこ祭り, とうかさん, フラワーフェスティバル	51
附属	祭礼	祭り, えびす講, 住吉祭, 菅弦祭, 祇園祭, ひな祭り, ねぶた祭り, とんど, とうろう流し, よさこい祭り, 酒祭り, いのこ祭り, とうかさん, フラワーフェスティバル, びんごさらの舞	48
東雲	伝統芸能	神楽	20
附属	伝統芸能	神楽, 能楽, 狂言	10
東雲	工芸品	熊野筆, かつら, 備後かすり, しゃもじ, 仏壇	31
附属	工芸品	熊野筆, かつら, 備後かすり, しゃもじ, 仏壇, 府中たんす, 西陣織, 南部鉄器	125
東雲	祝祭日	七五三, お正月, たなばた, 節分, 平和記念式典	9
附属	祝祭日	お正月, 平和記念式典	11
東雲	遺跡	巖島神社, 三ツ城古墳	2
附属	言語	広島弁	5
東雲	踊り	盆おどり, あわおどり	11
附属	踊り	やっさ踊り, 阿波踊り, 阿賀音頭, ソーラン節	11
東雲	料理	もみじまんじゅう, お好み焼, かき, 餅つき	14
附属	料理	もみじまんじゅう, お好み焼, かき, 穴子, 観音ねぎ, 広島菜, 酒	25



項目(6)参加意欲について比較した表が以下である。



両校とも同様の傾向を示しているが、東雲の生徒の方が伝統文化への参加により意欲を示していることが分かる。

以上の項目を比較すると、東雲の生徒の方がより伝

統文化に対する興味・関心や取り組みへの意欲が伺えるが、両校はほぼ同様の傾向を示しており、学校間での顕著な差異を見出すことはできなかった。

#### イ 伝統文化の事前知識・理解の比較

両校の生徒は伝統文化をどのように理解しているのか。両校の生徒が列挙した伝統文化の種類と事例を表1で比較する。

伝統文化を東雲は祭礼として、附属は工芸品として認識する生徒が多い傾向が伺える。祭礼は実際に参加した経験から、工芸品は見学体験からという形で、どちらの認識にしろ具体的な体験に基づいており、生徒は伝統文化を自らが体験したことのある事例として捉えていることが分かる。伝統文化の種類として両校で異なっていたのは東雲が遺跡、附属が言語とそれぞれ1項目のみで、ほぼ同様の項目を挙げる事ができた。

以上より、授業以前の生徒の伝統文化に対する認識にはほとんど大差がないことが分かる。

#### ウ DVD教材により獲得した伝統文化の種類と事例の比較

それではDVD視聴により、伝統文化の種類に対する認識は両校においてどのように変容したのか。比較したのが次頁の表2である。

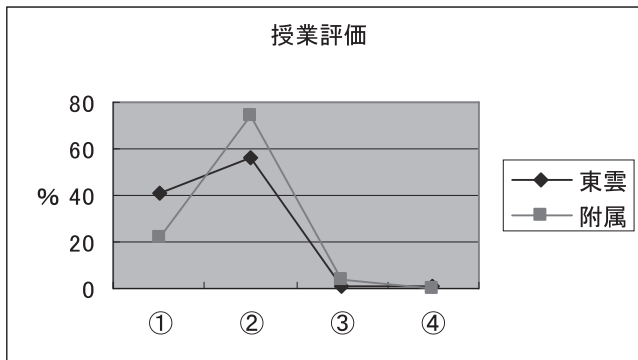
表2 授業後の伝統文化の種類と事例の比較

	種類	事例	計
東雲	伝統芸能	能楽, 神楽, 茶道	69
附属	伝統芸能	能楽, 神楽, 茶道, 狂言	138
東雲	遺跡	産業奨励館, 縮景園	10
附属	遺跡	産業奨励館, 縮景園	15
東雲	工芸品	金仏壇, 竹細工, 紙	5
附属	工芸品	竹細工	1
東雲	歴史	西国街道, 川舟, 雁木, 歴史全般	22
附属	歴史	城下町, 川舟, 雁木, 歴史全般	22

伝統文化の種類は、両校とも同じ項目を挙げており、DVDに示された伝統文化を十分認識できたことが分かる。母体数を考慮すると、東雲の生徒は特に伝統文化と歴史との関わりに関心をもって、伝統文化を捉えているといえる。附属の生徒は、伝統文化と伝統芸能の視点から捉えているといえる。

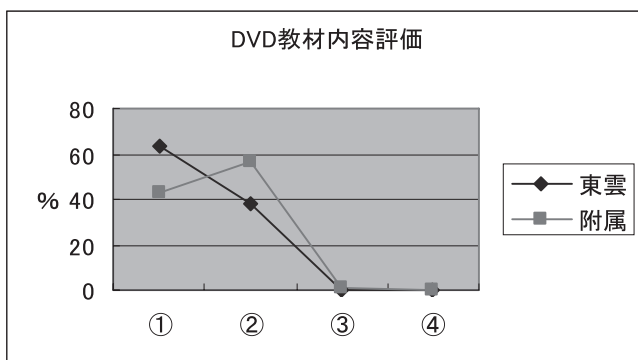
### エ 伝統文化の事後認識の比較

DVD視聴による授業に対する評価を両校で比較した表が以下である。



両校とも同様の傾向を示しているが、東雲の生徒の方がより高い評価を示していることが分かる。

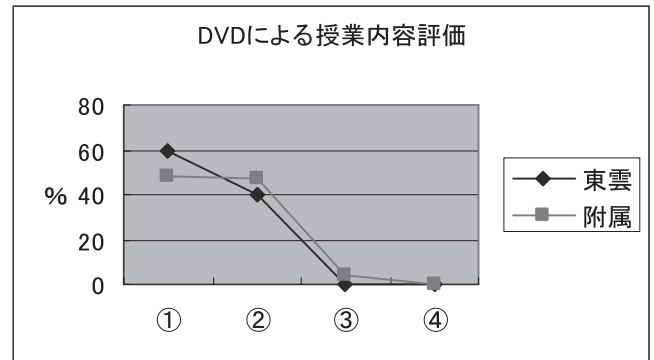
DVD教材に対する評価を両校で比較した表が以下である。



両校とも同様の傾向を示しているが、東雲の生徒の

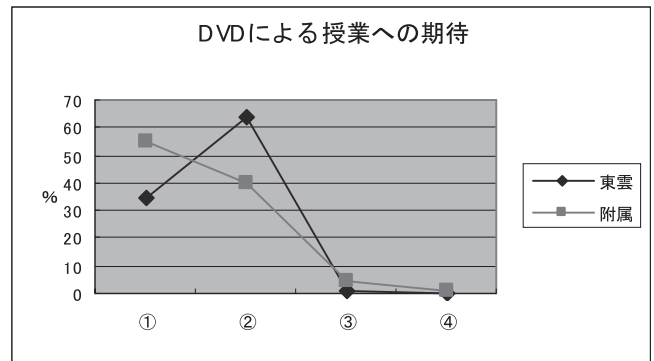
方がより高い評価を示していることが分かる。

DVD視聴が内容理解に寄与したかに対する評価を比較した表が以下である。



両校とも同様の傾向を示しているが、東雲の生徒の方がより高い評価を示していることが分かる。

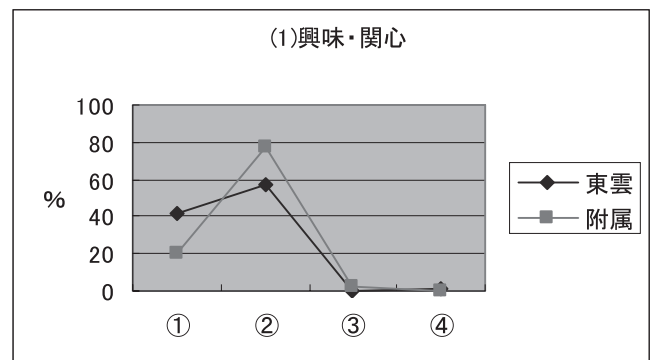
DVDを授業に取り入れることへの評価を比較した表が以下である。



両校とも同様の傾向を示しているが、附属の生徒の方がより高い評価を示していることが分かる。

### オ 伝統文化に関する事後評価の比較

授業後の伝統文化に対する興味・関心を両校で比較した表が以下である。

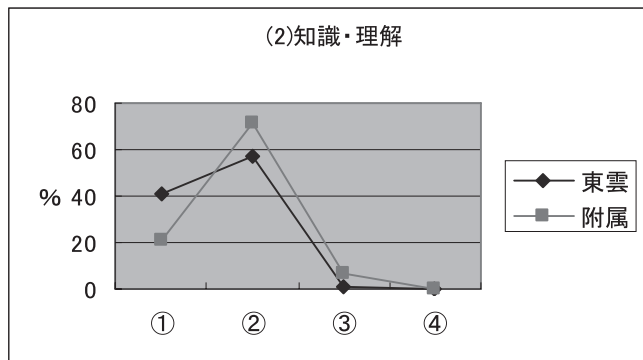


両校とも同様の傾向を示しているが東雲の生徒の方がより興味・関心が高いことを示していることが分かる。

授業後の伝統文化に対する知識・理解を比較した表

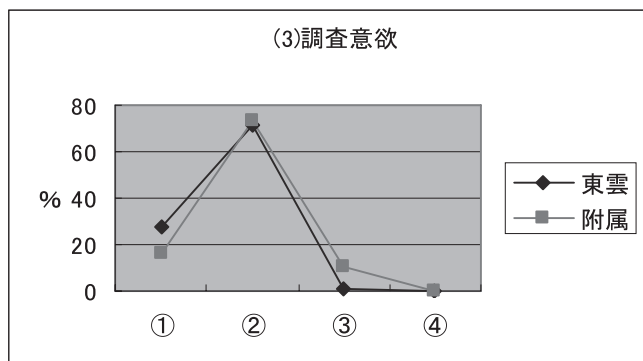


が以下である。



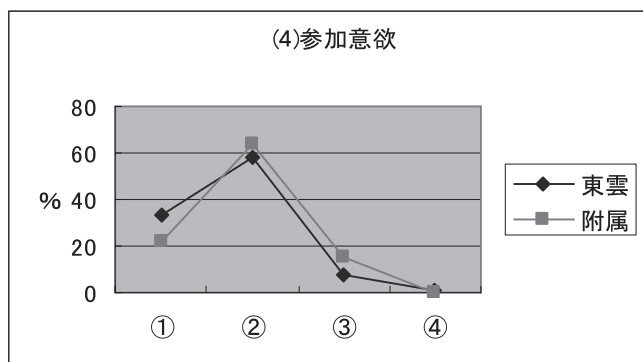
両校とも同様の傾向を示しているが、東雲の生徒の方がより知識・理解が増大したと考えていることが分かる。

授業後の伝統文化に対する調査意欲を比較した表が以下である。



両校とも同様の傾向を示しているが、東雲の生徒の方がより高い調査意欲を示していることが分かる。

授業後の伝統文化に対する参加意欲を比較した表が以下である。



両校とも同様の傾向を示しているが、東雲の生徒の方がより参加意欲を示していることが分かる。

### カ DVD教材による伝統文化授業への肯定的評価の要因の比較

両校の生徒が、DVD教材のどのような場面に関心を持ち、DVDに肯定的な評価を下したのかを比較した

のが以下の表3である。

両校ともほぼ同様の場面に関心を示しており、両校の比較から関心を持つ伝統文化の事例の共通性を読み取ることができた。

表3 DVD教材における興味・関心場面の比較

		場 面	計
広島 の 地 域 性	東雲	広島歴史	20
	附属	広島歴史	12
	東雲	広島地形	8
	附属	広島地形	12
	東雲	太田川とのつながり	10
	附属	太田川とのつながり	4
	東雲	昔と今の町並みの比較	3
	附属	昔と今の町並みの比較	15
	東雲	産業奨励館	41
	附属	産業奨励館	45
	東雲	広島城	2
	附属	広島城	2
	東雲	縮景園	1
附属	西向寺	1	
伝 統 文 化	東雲	文化全般	9
	附属	文化全般	15
	東雲	茶道	15
	附属	茶道	25
	東雲	神楽	20
	附属	神楽	37
	東雲	能楽	2
	附属	能楽	14

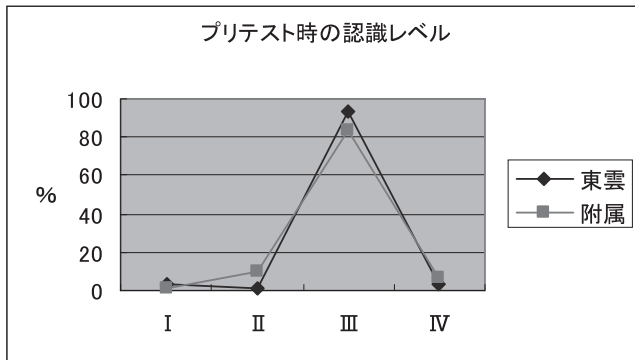
### キ 数量的な分析結果の比較の考察

以上の数量的な分析結果の比較から、開発されたDVD教材は伝統文化に関する生徒の知識・理解、興味・関心、意欲・態度などを深める効果的な教材であることが裏付けられた。また、伝統文化を具体的な事例として捉えていたが、DVD教材のほぼ同様の場面に興味・関心を示し、その視聴後は歴史や地理と関連づけたり、具体的な事例と文化全般を関連づけることができるようになったことで、伝統文化に対する認識が深まったことが分かる。これより、DVD教材は、伝統文化を幅広い視点からより一般化して捉えることを可能とする教材であることが裏付けられた。

## (2) 質的分析の比較

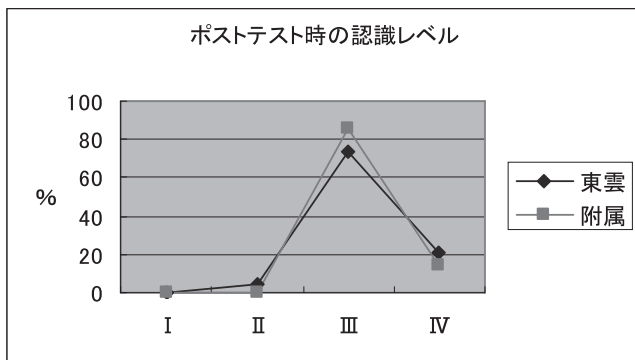
### ア 伝統文化の認識レベルの変容の比較

伝統文化の認識レベルを比較した表が以下である。



両校ともほぼ同様の傾向を示しているが、東雲の生徒の方がより伝統文化を一般化したレベルに到達していることが分かる。

授業後の伝統文化の認識レベルの変容を比較した表が以下である。



両校ともほぼ同様な傾向を示しているが東雲の生徒の方が段階IVに到達した生徒がより多いことが分かる。

具体的にプリテストとポストテストでどう変容したかを両校で比較した表が以下である。

表4 認識レベルの変容の比較

認識段階の変容	%	
	東雲	附属
無回答→Ⅲ	5.1	8.5
無回答→Ⅳ		1.9
I→Ⅱ	1.3	
I→Ⅲ		0.9
I→Ⅳ	1.3	
Ⅱ→Ⅱ	1.3	
Ⅱ→Ⅲ		6.6
Ⅱ→Ⅳ		0.9
Ⅲ→Ⅲ	62.8	66.0
Ⅲ→Ⅳ	15.4	8.5
Ⅳ→Ⅲ		3.8
Ⅳ→Ⅳ	2.6	0.9

両校において、認識段階の変容に大差を見出すことはできない。認識段階Ⅲの生徒が両校とも60%強であり、認識レベルそのものは変容しなかった生徒が多かった。しかし、認識段階Ⅲの生徒の具体的な認識を分析すると、両校ともその一般化がより深まっていることは明らかであり、認識段階Ⅳに至らないまでも認識が精緻化していることが分かる。認識段階Ⅲの生徒に関しては、附属の生徒の認識の方が、「シンボリック」「インパクトがある」「美しい」など伝統文化に対して多様な表現を用いていることが両校の差異として挙げられよう。認識段階Ⅳの生徒に関しては、東雲は18%の生徒が、附属は9.4%の生徒が到達しており、東雲の生徒の割合が高くなっていることが両校の差異として挙げられよう。

### イ 質的な分析結果の比較の考察

アにおいて、両校の差異を2点挙げたが、こうした差異が生じたのはなぜなのか。両校の差異は、DVD視聴前の事前授業の有無により生じていると思われる。東雲においては伝統文化に対する事前の教師による授業を行わず、生徒の予備知識のみでDVD教材を視聴した。附属においては事前の教師による授業を行い、伝統文化を認識する視点を提示し、それに基づいてDVDを視聴するよう指示された。それにより、附属の生徒は教師が提示した視点にてらして伝統文化を認識したために、その視点で伝統文化をより高度に一般化し、認識段階としてはⅢのままにとどまる生徒が多くなったと思われる。それに対し、東雲の生徒はそうした視点を持たないために、DVD教材の伝統文化は今後も継承していくべきというメッセージを素直に受け取め、認識段階Ⅳに到達した生徒が多くなったと思われる。附属の生徒で認識段階Ⅳに到達した生徒の記述をみると、伝統文化に参加した生徒のインタビューに関心を示していることからDVD教材にはそうしたメッセージ性が強いことが分かる。

### (3) 分析結果の比較の考察と総括

数量的分析、質的分析結果の比較とその考察から、次の3つの点を本研究授業の研究総括としてまとめることができる。

第1に、DVD教材の活用は、授業そのものに対する興味や意欲を高める授業方法としても、授業内容の知識・理解、興味・関心、意欲・態度を高める内容においても非常に効果があることが両校の比較で裏付けられた。

第2に、このDVD教材では、伝統文化を個別的な事柄と捉える認識や伝統文化に対する一般化に対して

は効果があることは分かった。しかし、根本的な変容を期待することはむずかしいことも分かった。

第3に、DVD視聴前における授業がもたらす効果についてである。研究授業は、生徒の認識の変容・深化に一応の寄与をしたが、大きな変容には至らなかった。伝統文化の授業を通して生徒にどのような変容をもたらすかという到達基準を事前に教師が設定し、それに応じて研究授業をすべきかどうか、するのであればどのような内容にすべきか、といった計画段階での入念な想定と準備が大事であることが分かった。

DVD教材の効果そのものは、両校の研究授業の結果から、同様な成果を得ていることから実証されたといえよう。

広島市立井口中学校の研究授業の結果は本稿では紙面の都合上、取り上げて報告することができないが、ほぼ同様な結果であった。次のような結論に至った。

- (a) 伝統文化に対する否定的な捉えや抽象的な捉えが、より肯定的かつ、参加も視野に入れた積極的な捉えへ変容した生徒が多い。
- (b) 参加にとどまらず、その意義を理解し、次世代へ伝えようという認識へ変容した生徒も見られた。
- (c) 「伝統文化」を漠然と捉えていた生徒が、DVDの視聴の結果、一般的な理解を超え、具体的な対象として捉えるようになる傾向が見られる。

#### 4. 本年度の研究の成果

3つの中学校における研究授業の検証結果から、DVD教材の学習効果がみられたことは明確であった。しかし、課題も明らかになった。それは、DVD教材を、教師により使いやすく、また生徒に理解しやすかつさらに学ぶことができるものへ改良すべきだということである。これを受けて、平成20年度版のDVD教材を開発することにした。それが、「広島の伝統文化の復元と継承」である。このDVD教材の学習効果の研究も行ったが、本研究では報告することがで

きない。

ここでは、チャプター方式による改良を行い、次の7つの点に特質を持っているものとした。

- ア 教材編成を、主編部と副編部の2部構成にし、チャプター方式を採用したこと
  - イ 主編部は、チャプター方式による7つの部分からなり、伝統文化の主たるものの紹介に、副編部には、それぞれのチャプターの解説に当たったこと
  - ウ 視聴覚教材として、実物映像を提示するだけでなく、CG映像を入れ、現在は存在していないものを構成したり、複合化したり動的映像に加工したりしていること
  - エ 中学生の目線、理解に合うように、映像構成に工夫を加えていること
  - オ 教材選択の基準に、中学生の伝承を中心にして、伝承の意義を明確にさせていること
  - カ 教材配列を工夫し、学習の発展に結びつくようにしていること、とくに、ジャンル別構成と歴史的順序により配列・構成し、学習が単純にならないようにしていること
  - キ 産業奨励館（原爆ドーム）の歴史的遡及という構成は、探求学習として構成するための映像的、教材的な刺激材となっていること
- 以上が、平成19年度DVD教材を用いた研究授業とその学習効果に関する比較検討、そして、教材の改良への示唆であり、それに基づく改良点を解明したことである。平成20年度開発のDVD教材の学習効果の検証結果の報告は今後の課題としたい。

#### 【謝辞】

本研究では、広島市教育委員会、広島市立井口中学校、広島大学附属中学校、広島大学附属東雲中学校の多大なご協力をいただきましたことに、記して感謝とお礼を申し上げます。